

北朝鮮 核実験場を廃棄



発行所 秋田魁新報社
〒010-8601
秋田市山王臨海町1番1号
©秋田魁新報社 2018年

号外

購読申し込み
0120-13-1231
電子版
www.sakigake.jp

モバイル
m.sakigake.jp



詳しくは「秋田魁新報」朝刊、「秋田魁新報」電子版「さきがけMOBILE」をご覧ください。

ミサイル実験も中止

北朝鮮は20日、朝鮮労働党の中央委員会総会を開き、核兵器開発が実現したとして、21日から核



大陸間弾道ミサイル「火星15」の準備状況を視察する金正恩朝鮮労働党委員長。朝鮮中央通信が2017年11月30日に配信した(朝鮮通信=共同)

実験と大陸間弾道ミサイル(ICBM)発射実験を中止し、北部の核実験場を廃棄すると決定した。朝鮮中央通信が21日伝えた。

非核化には言及せず「わが国に対する核の威嚇がない限り、核兵器を絶対に使用しない」と表明。6月上旬までの開催が見込まれる史上初の米朝首脳会談の前に、核保有国として交渉に臨む立場を示唆した。

金正恩委員長は総会で「国家核戦力完成という大業を短い期間で完璧に達成した」と指摘し、核実験場はその使命を終えたと述べた。既に開発した核兵器の

放棄には踏み込まなかった。「完全な非核化」を目指す米国や韓国の立場とは隔たりが大きく、非核化交渉は難航も予想される。

小野寺五典防衛相は20日、北朝鮮による核実験場廃棄の決定などについて「国際社会をはじめ日米で協調している圧力を緩めるタイミングではない」と述べた。訪問先の米ワシントンで記者団の質問に答えた。

北朝鮮のミサイル実験を巡っては、2017年7月、日本海に向けICBMを発射。日本の排他的経済水域(EEZ)内の男鹿半島沖約300キロに落下した。